

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成24年9月28日発行

10月の主な行事予定

- 10月10日（水）
中部地区社会教育担当者会（まなびタウンとうはく）
- 10月24日（水）～ 26日（金）
全国社会教育研究大会（山梨県甲府市）
- 10月24日（水）
鳥取県社会教育振興大会（倉吉未来中心）

地域ぐるみで子どもを育む

中部地区社会教育関係者研修会を開催しました



平成24年9月4日（火）北栄町北条農村環境改善センターにおいて、中部地区社会教育関係者研修会を開催しました。青少年育成をテーマに3つの実践発表とワークショップに65名の参加がありました。

「学校と地域で育む」倉吉市西郷公民館の取組

西郷公民館 牧野紀史館長に、学校と地域の連携のため、公民館がコーディネートしているという実践発表をしていただきました。

約10年前、放課後の子ども見守り活動を「都合の良いときに都合のつく人が活動する」という原則を決めて、地域の方の理解を得ながら始めました。

その原則を大切にしながら、放課後子ども教室や西郷枕太鼓伝承教室を展開しています。さらに、地域と子どもが一体となったサラバンダ in 西郷や地区大運動会。親と子の料理教室や少年キャンプといった体験活動。近年では、菜の花プロジェクトへの協力や学校支援ボランティア事業等学習支援、環境整備といった学校との連携を深めています。

原点は、西郷地区の子どもの思いやり、感謝の心



西郷公民館 牧野館長

を育み、地域の良さを知って欲しいということです。子どもと関わるなかで、例えば、あいさつをしてくれたり、感謝の言葉があったり、その成果を感じています。また、活動をとおして、住民の学校理解も深まり、住民自身の生きがいと自己実現につながっていると思います。しかし、高齢化が進み、活動が難しくなる方もあります。人材の確保は、今後も課題として有ると思います。

「公民館ボランティアとつないで育む」琴浦町立古布庄地区公民館の取組



古布庄地区公民館 御古公民館主事

古布庄地区公民館の御古公民館主事に公民館の学習者に指導者やボランティアになっていただきながら、青少年育成を進めているという実践発表をしていただきました。

古布庄地区公民館では、「チャレンジ古布庄」という取組をしています。ねらいは、学校、家庭、地域が連携して「心豊かでたくましい子どもを地域で育む」ということです。チャレンジ古布庄に

は、「わくわくサタデー」と「かせいち楽校」の活動があります。

「わくわくサタデー」は、体験を中心とした土曜日の活動で、一向平森林保全協会など地元の専門家と協力しながら、ネイチャーゲームや炭焼き体験、カヌー体験などを行っています。「かせいち楽校」は、古布庄小学校を会場として、全児童が参加する水曜日の放課後活動です。各集落の高齢者クラブの方とグラウンド・ゴルフをしたり、公民館の茶道サークルの方からお茶を習ったり、折り紙サークルの方から折り紙を習ったりしています。公民館まつりでは、子どもたちのお点前や作品として披露されています。

成果としては、地域と小学校の交流が広がり、安全パトロールや学校支援ボランティアの活動につながったことが挙げられます。今後の大きな課題としては、小学校の学校統合がありますが、地区を越えた関係づくりに努めていきたいと思っています。

「保護者と地域の方を巻き込んで育む」湯梨浜町 ながせキッズクラブの取組

湯梨浜町の放課後子ども教室「ながせキッズクラブ」代表の松原厚子さんに、ボランティアを中心とした子どもの体験活動の実践発表をしていただきました。

放課後子ども教室「ながせキッズクラブ」は、他の地域と比較して遅れて立ち上がりました。羽合小学校区には、6つの地区公民館があり、施設の規模も小さいため、小学校区を対象とした放課後子ども教室の実施は困難だと考えていました。しかし、地区毎に実施している他の例を聞き、長瀬地区でもと考え、保護者を中心として公民館と連携し組織を立ち上げました。ボランティアの募集は、自分自身がPTAの経験が長いこともあり、知っている保護者などに一人一人に声掛けをして少しずつお願いしました。



ながせキッズクラブ代表 松原さん

活動内容は、お寺での宿泊体験や、手芸、サツマイモづくり、「泊クラブ」など他地区の放課後子ども教室との交流など様々に展開しています。ボランティアで参加してくれた方の特技を活かすほか、スポーツ推進委員や食生活改善委員の方等にも協力をいただいて活動しています。課題としては、最近の子どもは本当に忙しく、日程調整の難しさが挙げられます。また、ボランティアの掘り起こしも、今後の課題となると思います。

ワークショップ「中学生・高校生を巻き込む活動」

最後に青少年育成のなかでも取組がなかなか進まないテーマ「中学生・高校生を巻き込んだ公民館活動、地域活動で大切にしたいこと」について湯梨浜町教育委員会 阪口亜矢子主事の司会でワークショップを行いました。

自分の地域の実践例を出しあって、協議を行いました。「中・高校生に魅力的な事業は何か」も重要かもしれないが、「大人が支援し、中・高校生の自主性、自立を促す活動」が大切であることを再確認した研修となりました。



青少年育成への思いを共有しました



ユニークな発表も多くありました

参加者募集『中部地区生涯学習実践研究交流会』

中部地区生涯学習実践研究交流会 家庭教育を考える

家庭教育支援について、子育て支援について、様々な分野で取り組みが行われているなか、社会教育の分野で何ができるのか、中部の生涯学習関係者が集まり一緒に考えましょう。

基調講演



「地域で取り組む家庭教育」
学校法人麻生学園 東明館小学校長
文部科学省初等中等教育局CSマスター 今村 隆信さん
昭和25年福岡県生まれ。
春日市社会教育委員の会議委員長でもあり、福岡県春日市の家庭教育支援計画「親育ち計画」をまとめた。

日時 平成24年11月13日(火) 13:30～16:30

会場 琴浦町生涯学習センター まなびタウンとうはく
東伯郡琴浦町徳万266-5(電話0858-52-1111)



分科会 PTA活動と連携した家庭教育

提言者 松崎幼稚園082の会 田中一臣さん
助言者 鳥取県教育委員会 家庭・地域教育課 係長 藤山正明さん

公民館サークル活動としての家庭教育

提言者 小幡ママ友の会 代表 北中 薫さん・副代表 牧田美恵さん
助言者 湯梨浜町教育委員会 教育総務課 指導主事 谷口伊都子さん

<問い合わせ先> 中部教育局社会教育担当
【電話】0858-23-3233 (午前8時～午後5時) 0858-23-5203
<申込 期 限> 平成24年10月26日(金)

主催 東伯郡社会教育協議会、春日市教育委員会



平成24年11月13日(火)に琴浦町のまなびタウンとうはくにおいて、中部地区生涯学習実践研究交流会を開催します。

「家庭教育を考える」テーマに公民館のサークル活動、PTA活動における家庭教育の実践事例を発表していただき、分科会で考えます。

また、基調講演の講師 今村隆信さんは、小学校教員の出身で、福岡県教育庁社会教育主事、国立社会教育研修所研修主事、青山学院大学非常勤講師、文部省生涯学習審議会特別委員などを歴任し、市立小学校長を経て、現在は私立小学校長です。

学校教育からの視点も、社会教育からの視点も含めて広い視野で家庭教育について語っていただきます。

鳥取県社会教育振興大会のみどころ

中部地区の魅力的な実践発表を期待

鳥取県社会教育振興大会が、平成24年10月24日(水)に倉吉未来中心を会場として開催されます。この振興大会のみどころを3つ挙げたいと思います。

ちゅうぶくん

- 九州女子大学 大島まな准教授をお迎えし、「社会教育における家庭教育支援のあり方」と題して基調講演があります。よく家庭教育支援は、取り組みが難しいといわれます。そのヒントになる講演になると思います。

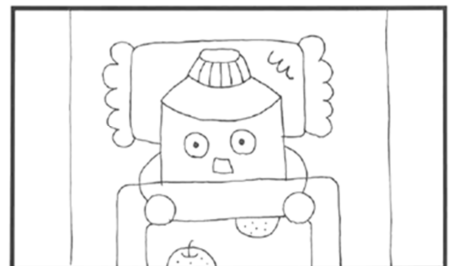


- 各市町村の実践発表が3つの会場に分かれて行われます。中部地区からは、三朝町が社会教育委員の取組を『地域住民の声を社会教育行政に』と題して発表されます。

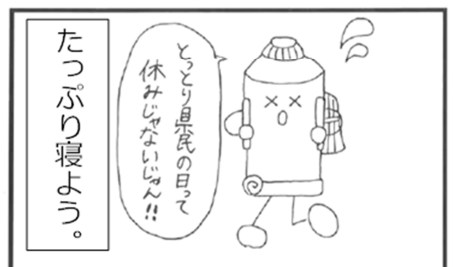


また、湯梨浜町は公民館のこれからの夢を語る発表『とりんどるさんにまけんで一きてごしなれ』を予定しています。どちらも魅力的な発表になると思います。

- 倉吉市、北栄町、琴浦町の3つの市町は、パネル展示を行います。倉吉市は「生涯学習講座」、北栄町は「北栄ゆら由良川くだり2012」、琴浦町は「子ども読書活動の推進」です。パネルという限られたスペースの中、どうやって事業の魅力に参加者に伝えるのか、担当者の腕の見せ所です。



鳥取県社会教育振興大会は、県内の全市町村と県が関わり、スタッフが協働しながら開催されます。県内の取組を知る良い機会です。御参加ください。



【あしがき】

とっとり県民の日は、9月12日でした。いつのまにか過ぎていて、ちゅうぶくんのネタに使いそこねてしまいました。秋の夜長は読書に良いといわれますが、わたしは、ちゅうぶくんと同じように、しっかり睡眠に使いたと思います。(大本)

中部教育局
社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail daimotoy@pref.tottori.jp